

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-197341

(43)Date of publication of application : 12.07.2002

(51)Int.Cl.

G06F 17/60
G06F 17/30

(21)Application number : 2000-391706

(71)Applicant : LION CORP

(22)Date of filing : 22.12.2000

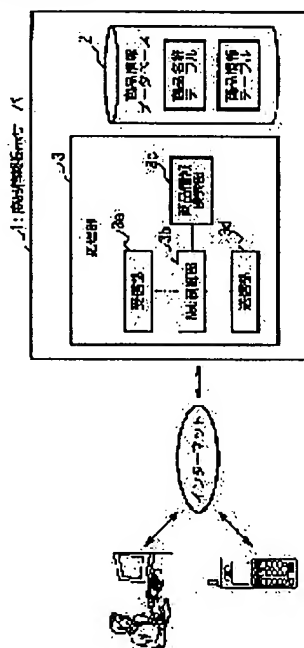
(72)Inventor : HARA NORIKO
TAKEI REIKO
MIYAJIMA NOBUYUKI

(54) COMMODITY INFORMATION PRESENTING METHOD CAPABLE OF PRESENTING CORRECT COMMODITY INFORMATION TO CUSTOMER, COMMODITY INFORMATION PRESENTING SYSTEM AND RECORDING MEDIUM FOR RECORDING ITS PROGRAM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a commodity information presenting method and a commodity information presenting system allowing even a person inexperienced in keyboard operation for inputting a character to result in only input of a numeric value, and allowing a customer to easily acquire correct information even on a commodity changing in the contents.

SOLUTION: A commodity code expressed by using a row of figures for discriminating the commodity is preassigned with every item of the commodity and according to a difference in a blending component included in the commodity, and commodity information composed of a commodity feature or the blending component made to correspond to this commodity code is stored, and when receiving the commodity code through an Internet communication network, the commodity information corresponding to this commodity code is sent out to a transmitter, and can be presented to the transmitter.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-197341

(P2002-197341A)

(43) 公開日 平成14年7月12日 (2002.7.12)

(51) Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード [*] (参考)
G 0 6 F 17/60	3 2 6	G 0 6 F 17/60	3 2 6 5 B 0 7 5
	Z E C		Z E C
	3 0 2		3 0 2 E
	3 1 8		3 1 8 G
17/30	1 1 0	17/30	1 1 0 F

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 8 頁) 最終頁に続く

(21) 出願番号 特願2000-391706(P2000-391706)

(22) 出願日 平成12年12月22日 (2000. 12. 22)

(71) 出願人 000006769

ライオン株式会社

東京都墨田区本所1丁目3番7号

(72) 発明者 原 憲子

東京都墨田区本所一丁目3番7号 ライオン株式会社内

(72) 発明者 武井 玲子

東京都墨田区本所一丁目3番7号 ライオン株式会社内

(74) 代理人 100064908

弁理士 志賀 正武 (外6名)

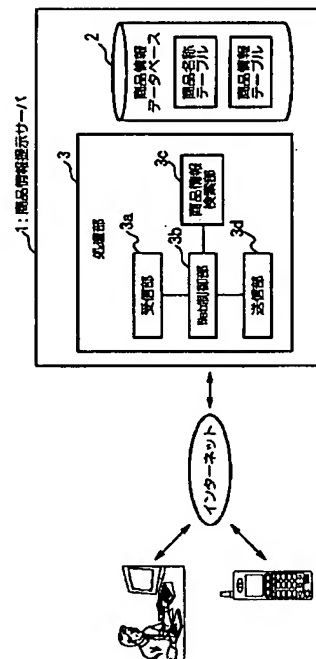
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 正しい商品情報を顧客に提示可能とする商品情報提示方法、商品情報提示システム及びそのプログラムを記録した記録媒体

(57) 【要約】

【課題】 文字入力のためのキーボード操作に不慣れな人でも数値の入力だけで済み、内容物に変更のある商品などについても顧客が正しい情報を簡単に入手することができる商品情報提示方法ならびに商品情報提示システムを提供する。

【解決手段】 商品を識別するため数字の列を用いて表示される商品コードを、商品の単品毎および商品に含まれる配合成分の相違等に応じて予め割り当て、この商品コードに対応付けられた、商品特徴あるいは配合成分等からなる商品情報を蓄積し、インターネット通信網を介して商品コードを受信すると、この商品コードに対応する商品情報を発信者に向け送出して、発信者に提示可能とする。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 商品を識別するため数字の列を用いて表示される商品コードを、商品の単品毎および商品に含まれる配合成分の相違等に応じて予め割り当て、前記商品コードに対応付けられた、商品特徴あるいは配合成分等からなる商品情報を蓄積し、インターネット通信網を介して前記商品コードを受信すると、該商品コードに対応する商品情報を該商品コードの発信者に向け送出し、該発信者に提示可能とすることを特徴とする商品情報提示方法。

【請求項 2】 商品の単品毎および商品に含まれる配合成分の相違等に応じて予め割り当てられ商品を識別するため数字の列を用いて表示される商品コードに、商品特徴あるいは配合成分等からなる商品情報を、対応付け蓄積する記憶手段と、インターネット通信網を介して前記商品コードを受信すると、該商品コードに対応する商品情報を、前記記憶手段から取り出すとともに商品コードの発信者に向け送出し、該発信者に提示可能とする商品情報提示手段と、を具備することを特徴とする商品情報提示システム。

【請求項 3】 コンピュータに実装され実行されることにより、請求項 2 に記載の商品情報提示システムを実現するプログラムを記録した記録媒体であって、インターネット通信網を介して、商品の単品毎および商品に含まれる配合成分の相違等に応じて予め割り当てられ商品を識別するため数字の列を用いて表示される商品コードを受信する手順と、商品特徴あるいは配合成分等からなる商品情報を前記商品コードに対応付け蓄積した記憶手段から、受信した商品コードに対応する商品情報を取り出すとともに、商品コードの発信者に向け送出手順と、を記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、商品の単品毎に固有に割り当てられる商品コード（特には、JAN (J I S-X 0501) コードに含まれる数字のコード）を利用して、商品特徴ならびに配合成分等の正しい商品情報を顧客に提示可能とする商品情報提示システムに関する。

【0002】

【従来の技術】インターネットを利用できる環境の普及・拡大に伴い、いわゆる e コマースの大幅な成長が見込まれている。この e コマースは、いつでも好きな時間に、自宅に居ながらにして世界各国の品物や情報を手にすることができる便利で有用な手段である。しかし一方で、商品およびその関連情報が広範囲かつ煩雑に存在するなかで、目的の商品や商品に関する様々な情報を見つけ出すことが、より困難になると考えられる。e コマースやインターネットに不慣れなものにとっては、そ

の恩恵を十分に享受できない可能性もある。そこで、e コマース利用者の多様な要求に合わせて、商品やその関連情報を検索するシステムが必要となる。現在では、こうした情報を検索し利用者に提供するための検索エンジン等がある。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】一般的な検索エンジンでは、検索対象と関連する情報の所在（情報源）を知ることができ、情報源をたどり関連情報を取得することができるが、検索するために適切なキーワードを、キーワード等を使って入力する必要がある。また、適切なキーワードを入力したとしても、目的の情報が得られるとは限らない。また、商品というものは、同じラベルで同じ名称だからといって、その内容物等が常に同じものであるとは限らない。現実には、その内容物等の組成が改良され変更されている。しかし、このような変更を、一般消費者が認識することは不可能に近い。したがって、常に最新の正しい情報を正確に顧客に提示できることが望まれる。

【0004】本発明は、上記の点に鑑みてなされたもので、文字入力のためのキーボード操作に不慣れな人でも数値の入力だけで済み、内容物に変更のある商品などについても顧客が正しい情報を簡単に入手することができる商品情報提示方法ならびに商品情報提示システムを提供するものである。

【0005】

【課題を解決するための手段】本発明の商品情報提示方法は、商品を識別するため数字の列を用いて表示される商品コードを、商品の単品毎および商品に含まれる配合成分の相違等に応じて予め割り当て、前記商品コードに対応付けられた、商品特徴あるいは配合成分等からなる商品情報を蓄積し、インターネット通信網を介して前記商品コードを受信すると、該商品コードに対応する商品情報を、商品コードの発信者に向け送出し該発信者に提示可能とすることを特徴とする。

【0006】また、本発明の商品情報提示システムは、商品の単品毎および商品に含まれる配合成分の相違等に応じて予め割り当てられ商品を識別するため数字の列を用いて表示される商品コードに、商品特徴あるいは配合成分等からなる商品情報を、対応付け蓄積する記憶手段と、インターネット通信網を介して前記商品コードを受信すると、該商品コードに対応する商品情報を、前記記憶手段から取り出すとともに商品コードの発信者に向け送出し、該発信者に提示可能とする商品情報提示手段と、を具備することを特徴とする。

【0007】また、本発明は、コンピュータに実装され実行されることにより、請求項 2 に記載の商品情報提示システムを実現するプログラムを記録した記録媒体であって、インターネット通信網を介して、商品の単品毎および商品に含まれる配合成分の相違等に応じて予め割り

当てられ商品を識別するため数字の列を用いて表示される商品コードを受信する手順と、商品特徴あるいは配合成分等からなる商品情報を前記商品コードに対応付け蓄積した記憶手段から、受信した商品コードに対応する商品情報を取り出すとともに、商品コードの発信者向け送出手順と、を記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することで、コンピュータを用いて容易に商品情報提示システムを実現できる。

【0008】

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を、図面を参照して説明する。図1は、本発明の一実施の形態である商品情報提示サーバの構成と、その利用環境を示す図である。

【0009】符合1は、商品情報提示サーバ（商品情報提示システム）である。符合2は、後述する商品名称テーブルと、商品情報テーブルを格納している商品情報データベースである。符合3は、処理部であり、利用者（発信者、顧客）が使用する端末装置から送られる要求やデータを受ける受信部3aと、WWW（World Wide Web）環境を利用者に提供するWeb制御部3bと、利用者から送られる商品コードを基に、商品情報データベース2から商品情報を検索し取り出す商品情報検索部3cと、商品情報検索部3cが取り出した商品情報等を所定の出力機器あるいは利用者が指定したFAX等の出力機器に向け送出手順と、を記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することで、コンピュータを用いて容易に商品情報提示システムを実現できる。

【0010】本実施の形態では、商品の単品毎に割り当てられる商品コードとして、JANコード（JANバーコード）に含まれる13桁の数字を利用する。そして、このJANコードは、商品名が同じ場合でも、組成改良などを行った場合には、異なるJANコードを割り当てるものとする（具体的には、下記の商品アイテムコードを異なるものとする）。

【0011】ここで、JANコードについて簡単に説明する。JAN（Japanese Article Number）コードは、共通商品コードのことであり、単品を国際的に唯一の番号で識別可能とするものである。1978年にJIS（JIS-X0501）により規格化され、現在では、ほとんどの商品にマーキングされている。このJANコードは、バーとスペースとからなるコードパターンと、数字（13桁あるいは8桁）とからなり、国を識別するための国コードと、商品メーカーまたは販売元を識別するための商品メーカーコードと、商品を識別するための商品アイテムコードと、バーコードスキャナなどの読み誤りを防ぐためのキャラクタコードであるチェックデジットで構成されている。このうち商品アイテムコードは、一定の設定基準に基づいて

各商品メーカーが単品単位で自由に設定して管理するものである。同じメーカーでも商品が異なれば、商品アイテムコードは異なるものとなる。以下の説明では、上記13桁の数字をJANコードと称することにする。

【0012】次に、商品情報データベース2に格納される商品名称テーブルと、商品情報テーブルについて説明する。図2は、この商品名称テーブルと商品情報テーブルの一例である。

【0013】図2に示した商品名称テーブルの例では、商品分野（台所用洗剤、ハミガキ、シャンプー、…）と、メーカー名と、商品名と、JANコードの各項目をもち、商品分野毎に分類されている。また、図2および図3に示した商品情報テーブルは、メーカー毎に分類されており、JANコード、商品特徴、配合成分、包装材料、使用方法、使用上の注意事項、誤飲・誤用の対処方法、廃棄方法、生産の有無、関連URL等の項目をもつ。これらの情報は、商品の裏書表示には表示されない、使い方のコツなどの詳細な情報が登録されている。そして、これらの情報が、利用者に提供され提示されるものである。

【0014】この商品名称テーブルと商品情報テーブルは、JANコードにより関連づけられる。したがって、JANコードの指定により、商品名称テーブルと商品情報テーブルに格納された情報（商品情報）が特定される。また、本実施の形態では、商品名称テーブルと商品情報テーブルの2つのテーブルを用いているが、もちろん、両方のテーブルに含まれる情報を、JANコード毎に分類した1つのテーブルにして利用するようにしてもよいものである。本実施の形態の検索部3cは、JANコードをキーワードとして、商品情報データベース2の商品名称テーブルと商品情報テーブルを検索し、当該JANコードに対応する商品情報を取得する。

【0015】なお、商品情報データベース2は、ハードディスク、光磁気ディスク等の不揮発性の記録装置により構成されている。また、処理部3はメモリおよびCPU（中央演算装置）等により構成され、処理部3の各機能を実現するためのプログラム（図示せず）をメモリにロードして実行することによりその機能が実現されるものとする。また、商品情報提示サーバ1には、インターネット等のネットワークに接続するためのインターフェースならびに周辺機器として入力装置、表示装置等（いずれも図示せず）が接続されるものとする。ここで、入力装置とはキーボード、マウス等の入力デバイスのことをいう。表示装置とはCRT（Cathode Ray Tube）や液晶表示装置等のことをいう。

【0016】次に、このように構成された商品情報提示サーバ1の動作について、図4に示す動作フローチャートと、図5～9に示す利用者が使用する端末装置における画面例を参照して説明する。

【0017】図5は、利用者が商品情報提示サーバ1に

アクセスした場合に、利用者が使用する端末画面に表示される入力画面の一例である。この入力画面には、符合11部分に示す13桁のJANコードを入力する入力欄と、知りたい情報の種類を選択する項目（商品特徴、配合成分、使用上の注意、…）と、商品情報の提示パターン（商品写真のみ、情報のみ、商品写真と情報）を選択する項目がある。本実施の形態では、利用者が商品情報を得るために商品コードとしてJANコードを利用するが、もちろん、実施にあたっては、JANコードのほか、さらに商品名等の入力を受け付けるようにし、この商品名等をキーワードとして用いて商品情報の提供・提示をするようにしてもよい。

【0018】この入力画面で、利用者が、その商品情報を知りたいと思う商品に表示された13桁のJANコードを入力欄11に入力するとともに、知りたい情報の種類と提示する商品情報のパターンを選択し、符合12部分の送信ボタンをクリックすると、これらのデータ（情報取得要求）が、端末装置からインターネットを介して商品情報提示サーバ1へ送信される。

【0019】次に、受信部3aが上記情報取得要求を受信すると（ステップS1）、商品情報検索部3cは、受信したJANコードに対応する商品情報を、このJANコードをキーワードとして商品情報データベース2を検索し取り出す（ステップS2）。そして、Web制御部3bが、利用者が選択した“知りたい情報の種類”の項目に対応するデータを、選択された“提示する商品情報のパターン”で、利用者の端末装置に表示させるためのデータ（利用者側でWebブラウザが使用される場合は、HTML（Hyper Text Markup Language）形式等のファイル）を生成する（ステップS3）。生成されたデータ（商品情報提示データ）は、送信部3dが利用者の端末装置に送信する（ステップS4）。

【0020】図6～8は、上記のようにして、商品情報提示サーバ1から利用者の端末装置に送信されこの端末装置に表示される商品情報の表示例である。なお、図6は、提示する商品情報のパターンとして、“商品写真のみ”が選択された場合の例であり、図7は、“情報のみ”が選択された場合の例であり、図8は、“商品写真と情報”が選択された場合の例である。

【0021】図6～8に示した画面例では、表示された画面から、メーカーのホームページへのアクセスや、購入申込み、当該商品情報のFAX機への出力の指定等をするためのボタンがあり、それぞれのボタンをクリックすることで、それぞれのサービスを受けることができる。例えば、符合13に示す「FAXに出力」のボタンが利用者によりクリックされると、図9に示すFAX番号の入力画面が表示される。利用者がこの入力画面から、符合14部分に示す入力欄にFAX番号を入力し、符合15部分の送信ボタンをクリックすると、このFAX

X番号のデータが商品情報提示サーバ1に送信される。

【0022】そして、受信部3aがこのデータを受信すると、Web制御部3bは、該当する商品情報をFAX機に出力するためのデータに変換する。そして、送信部3dがこのデータを利用者が指定したFAX機へ送信する。本実施の形態では、FAX機への出力を指定できる構成としているが、もちろん、出力先としてメールアドレス等を指定できるようにしてもよい。この場合、Web制御部3bが、該当する商品情報を電子メール用のファイルに変換し、送信部3dがこのファイルを利用者が指定したメールアドレスを指定してメール・サーバに向け送信する。以上、本実施の形態の動作の詳細を説明した。

【0023】本実施の形態では、現在ほとんどの商品にマーキングされているJANコードを商品識別に利用することにより、キーボード操作に不慣れな人でも数値の入力だけで商品情報を得ることができるようになる。また、商品にマーキングされるJANコードには、バーとスペースとからなるコードパターンも含まれるが、13桁の数字コードのみを使用することで、バーコードリーダ等が不要となる。また、利用者（顧客）は、改良品など商品名は同じでも内容物に変更のある商品などについても正しい情報を簡単に得ることができる。

【0024】また、本実施の形態の商品情報提示サーバ1は、例えば、以下の場合において活用できる。家庭においては、当該商品を、（1）上手に使うコツをしりたいとき、（2）誤った使い方をした場合の対処方法を知りたいとき、（3）当該商品を使用しても良いかどうか分からないとき（例、住まいの材質に対する掃除用洗剤の使用の可否、衣料素材に対する衣料用洗剤の使用の可否、など）、（4）愛用している商品が今でも手に入るかどうか分からないとき、（5）容器の廃棄方法が分からないとき、などの場合において活用できる。また、店頭においては、（1）商品の選択に迷った際、もっと詳しく特徴を知りたいとき、（2）自分の肌質や髪質にあった商品が詳しく知りたいとき、などの場合において活用できる。

【0025】なお、本発明は、インターネットの他、LANやダイヤルアップによるネットワークを利用しててもよい。また、図1における処理部3の機能を実現するためのプログラムをコンピュータ読み取り可能な記録媒体に記録して、この記録媒体に記録されたプログラムをコンピュータシステムに読み込ませ、実行することにより商品情報の提供・提示を行ってもよい。なお、ここでいう「コンピュータシステム」とは、OSや周辺機器等のハードウェアを含むものとする。

【0026】また、「コンピュータシステム」は、WWWシステムを利用している場合であれば、ホームページ提供環境（あるいは表示環境）も含むものとする。また、「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、フ

ロッピー（登録商標）ディスク、光磁気ディスク、ROM、CD-ROM等の可搬媒体、コンピュータシステムに内蔵されるハードディスク等の記憶装置のことをいう。さらに「コンピュータ読み取り可能な記録媒体」とは、インターネット等のネットワークや電話回線等の通信回線を介してプログラムが送信された場合のサーバやクライアントとなるコンピュータシステム内部の揮発性メモリ（RAM）のように、一定時間プログラムを保持しているものも含むものとする。

【0027】また、上記プログラムは、このプログラムを記憶装置等に格納したコンピュータシステムから、伝送媒体を介して、あるいは、伝送媒体中の伝送波により他のコンピュータシステムに伝送されてもよい。ここで、プログラムを伝送する「伝送媒体」は、インターネット等のネットワーク（通信網）や電話回線等の通信回線（通信線）のように情報を伝送する機能を有する媒体のことをいう。また、上記プログラムは、前述した機能の一部を実現するためのものであってもよい。さらに、前述した機能をコンピュータシステムにすでに記録されているプログラムとの組み合わせで実現できるもの、いわゆる差分ファイル（差分プログラム）であってもよい。

【0028】以上、この発明の実施形態を図面を参照して詳述してきたが、具体的な構成はこの実施形態に限られるものではなく、この発明の要旨を逸脱しない範囲の構成等も含まれる。

【0029】

【発明の効果】以上、詳細に説明したように、本発明によれば、商品の単品毎および商品に含まれる配合成分の相違等に応じて予め割り当てられ商品を識別するため数字の列を用いて表示される商品コードを用いて、この商品コードに対応付けられた商品情報を、発信者である顧客

*客に提示可能とするので、顧客は、特別な入力装置を用意する必要はなく、また、文字入力のためのキーボード操作に不慣れな人でも数値の入力だけで商品情報を得ることができる。また、改良品など、外見が同じでも内容物に変更のある商品などについても、正しい情報を容易に提示可能となる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明の一実施の形態である商品情報提示サーバの構成と、その利用環境を示す図である。

【図2】 同実施の形態の商品名称テーブルと商品情報テーブルの一例である。

【図3】 同実施の形態の商品情報テーブルの一例である。

【図4】 同実施の形態の動作フローチャートである。

【図5】 同実施の形態において、利用者の端末装置に表示される入力画面の一例である。

【図6】 同実施の形態において、利用者の端末装置に表示される商品情報の表示例である。

【図7】 同実施の形態において、利用者の端末装置に表示される商品情報の表示例である。

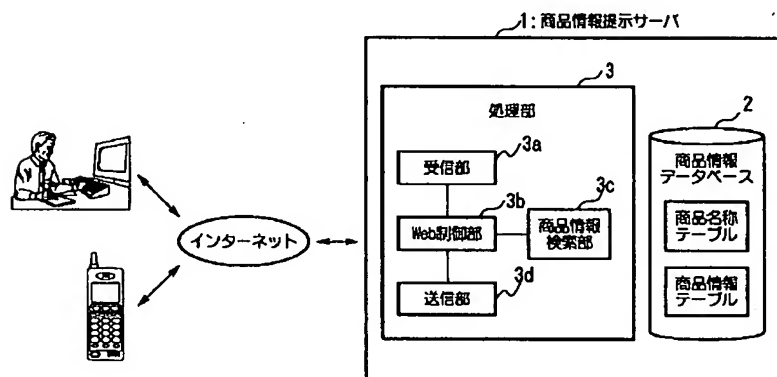
【図8】 同実施の形態において、利用者の端末装置に表示される商品情報の表示例である。

【図9】 実施の形態において、利用者の端末装置に表示されるFAX番号の入力画面例である。

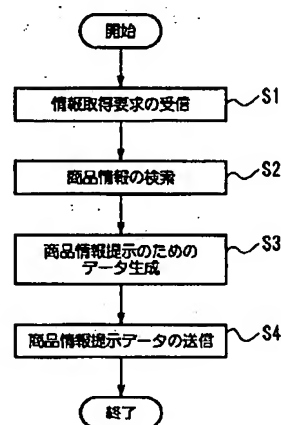
【符号の説明】

- 1…商品情報提示サーバ（商品情報提示システム）
- 2…商品情報データベース
- 3…処理部
- 3a…受信部
- 3b…Web制御部
- 3c…商品情報検索部
- 3d…送信部

【図1】



【図4】



【図2】

<商品名称テーブル>

商品分野	メーカー	商品名	JANコード
台所用洗剤	A社	a洗剤	49*****884422
		b洗剤	49*****825050
	B社	c洗剤	49*****001122
		d洗剤	49*****003344
ハミガキ	A社	e洗剤	49*****556677
		f洗剤	49*****720058
	B社	g洗剤	49*****609100
		h洗剤	49*****001122
シャンプー	A社	i洗剤	49*****555555
		j洗剤	49*****552550
	B社	k洗剤	49*****885313
		l洗剤	49*****666752
...

<商品情報テーブル>

JANコード	商品特長	配合成分	...
49*****884422	〇〇〇	〇〇〇	
49*****825050	〇〇〇	〇〇〇	
49*****720058	〇〇〇	〇〇〇	
49*****609100	〇〇〇	〇〇〇	
49*****552550	〇〇〇	〇〇〇	
49*****885313	〇〇〇	〇〇〇	
49*****666752	〇〇〇	〇〇〇	
...	

JANコード	商品特長
49*****001122	〇〇〇
49*****003344	〇〇〇
...	...

【図9】

出力したいFAXの番号を入力して下さい。

14

15

送信

入力画面へ戻る

【図3】

JANコード	商品特長	配合成分 (全表示)	包装材料	使用方法	使用上の注意	誤飲・誤用の 対処方法	廃棄 方法	生産の有無	関連URL
49*****884422	・洗浄力が特 殊し、少量 の洗剤でも つぎ足しな しで、たく さんの食器 が洗えます。	界面活性剤 ・7L+1L-7L 15L+1L+1L	本体 ・再生 PET	・除菌： スポンジを よく絞り、 約8mlの 原液をつけ てよくもみ ...	・幼児の 手の届く ところに置 かない。 ・使用後 は...	・飲み込ん だときは水 をのませる。	自治体 の指示に 従う	2000年 7月現在 生産中	http:// www.*** co.jp/ new/
...

【図5】

商品情報提示システム

商品情報を知りたい家庭用品の
JANコード（13桁の数値）
を入力して下さい。

11

知りたい情報の種類を選んで下さい

☐ 商品特長 ☐ 配合成分 ☐ 包装材料 ☐ 使用方法
☐ 使用上の注意 ☐ 誤飲・誤用の対処方法
☐ 廃棄方法 ☐ 生産の有無 ☐ 関連URL

提示する商品情報のパターンを選んで下さい

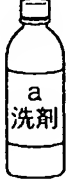
☐ 商品写真のみ ☐ 情報のみ ☐ 商品写真と情報

12

送信 リセット

【図6】

商品情報提示システム



メーカー	A社
商品名	a 洗剤
容量一本体	300ml

[メーカーのホームページへ](#)
[購入申し込み](#)
[FAXに出力](#)

13

[入力画面へ戻る](#)

【図7】

商品情報提示システム

◆ 商品名	a 洗剤
◆ JANコード	49****884422
◆ 商品特長	・洗浄力が持続し、少量の洗剤でもつぎ足しなして、 たくさんのお皿が洗えます。 :
◆ 配合成分	・界面活性剤 4.3% ・アルキルエーテル硫酸エステルナトリウム :
◆ 包装材料	・本体: 再生PET
◆ 使用方法	・除菌: スポンジをよく絞り、約8mlの原液を つけて :
◆ 使用上の注意	・幼児の手の届くところに置かない。 ・使用後は…… :
◆ 誤飲・誤用の 対処方法	・飲み込んだときは水を飲ませる。 :
◆ 生産の有無	2000 年7月現在生産中
◆ 廃棄方法	自治体の指示に従う
◆ 関連URL	http://www.***.co.jp/new/ :

[メーカーのホームページへ](#)
[購入申し込み](#)
[FAXに出力](#)


13

[入力画面へ戻る](#)

【図8】

商品情報提示システム

◆ 商品名	a 洗剤
◆ JANコード	49****884422
◆ 商品特長	・洗浄力が持続し、少量の洗剤でもつぎ足しなして、 たくさんのお皿が洗えます。 :
◆ 配合成分	・界面活性剤 4.3% ・アルキルエーテル硫酸エステルナトリウム :
◆ 包装材料	・本体: 再生PET
◆ 使用方法	・除菌: スポンジをよく絞り、約8mlの原液を つけて :
◆ 使用上の注意	・幼児の手の届くところに置かない。 ・使用後は…… :
◆ 誤飲・誤用の 対処方法	・飲み込んだときは水を飲ませる。 :
◆ 生産の有無	2000 年7月現在生産中
◆ 廃棄方法	自治体の指示に従う
◆ 関連URL	http://www.***.co.jp/new/ :



[メーカーのホームページへ](#)
[購入申し込み](#)
[FAXに出力](#)

13

[入力画面へ戻る](#)

(8)

特開2002-197341

フロントページの続き

(51)Int.Cl.⁷

G 0 6 F 17/30

識別記号

1 7 0

F I

G 0 6 F 17/30

テ-マコード(参考)

1 7 0 Z

(72)発明者 宮島 信幸

東京都墨田区本所一丁目3番7号 ライオ
ン株式会社内

Fターム(参考) 5B075 KK07 KK13 KK33 KK37 ND03

ND06 ND20 ND23 NK54 PP02

PP12 PP30 PQ02 PQ05 UU40